

PRESS INFORMATION

ニュースリリース PGJPR21-017

メディア関係者 各位

2021 年 6 月 8 日

ピアaggioグループジャパン株式会社

一体型ウイングレットを備えた新エアロダイナミクス、エンジンやエレクトロニクスを進化させた 新型 RSV4 Factory を発売

ピアaggioグループジャパン株式会社（本社：東京都港区芝2丁目、代表取締役 ネリ・ミクラウス）は、一体型ウイングレットを備えた新デザイン、進化したエンジンやエレクトロニクス、エルゴノミクスの改良により新次元のパフォーマンスを発揮する、『新型 RSV4 Factory』を全国のアプリリア正規販売店にて発売致します。

10年以上に渡りスーパースポーツカテゴリーに革新をもたらしてきたアプリリアブランドのフラッグシップスーパースポーツであるRSV4は、デザイン、エアロダイナミクス、エルゴノミクス、エンジン、シャシー構造等あらゆる面で目覚ましい進化を遂げ、ラップタイムやベストラップを容易に更新できるなど、サーキット走行でのパフォーマンスが向上しています。

新デザインのフェアリングは、革新的なRS660のフォルムにインスパイアされており、極限まで空気抵抗を低く抑えることで高速走行時のパフォーマンスと、ライダーの快適性が大幅に向上しています。65度V型4気筒エンジンは、排気量を1,099ccへと拡大しユーロ5の適合と共にトルクを増大させています。電子制御システムも従来モデルに搭載されていたものから更に進化を遂げ、さらにバイクライフをよりシンプルにすることを目的に、6種類のライディングモードを採用しています。シャシー構造は、軽量で高剛性の新デザインのスイングアームを採用し、安定したコーナリングを実現します。



アプリリア 新型 RSV4 Factory

- メーカー希望小売価格 : ￥3,080,000（消費税10%込）
- カラーバリエーション : アプリリアブラック
- 受注開始日 : 2021年6月9日(水)
- 出荷開始時期 : 2021年7月頃より順次



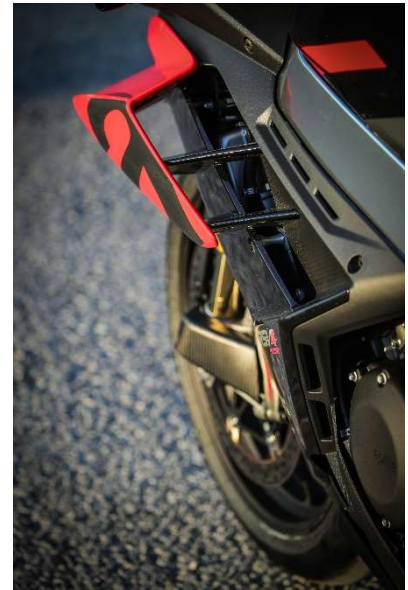
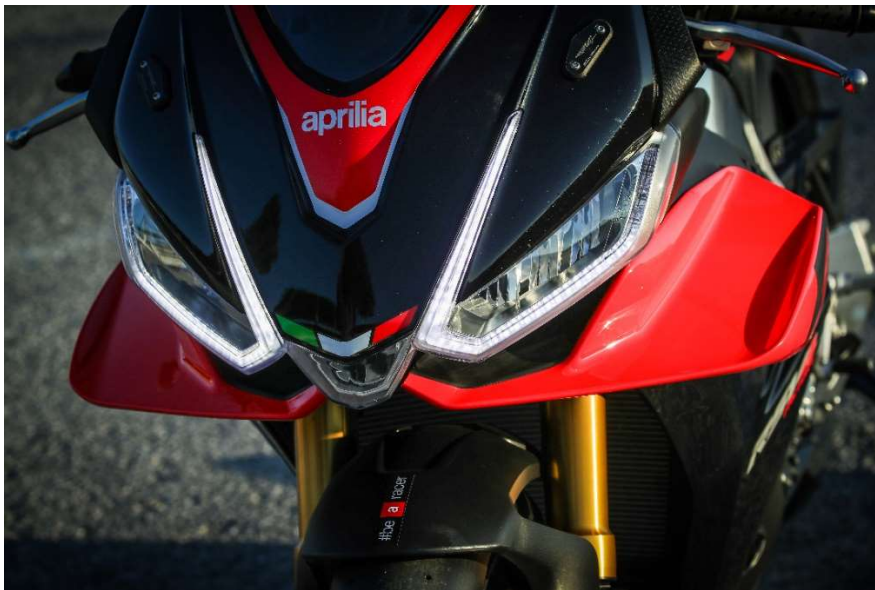
世界で最もユニークな進化を遂げた新型 RSV4

アプリリアRSV4は、レースで勝利を収めることだけを目的に創られ、10年以上に渡り評論家から賞賛を受け、参戦したレースの全てのトップカテゴリーでトロフィーを獲得した唯一のバイクであり、また大幅に改良したバージョンでMotoGPにも参戦した歴史を有し、あらゆるメーカーが最高峰のテクノロジーを持ち寄る分野において、驚くほど先見性の高いデザインを誇っています。アプリリアRSV4は常にアップデートされ、スポーツ性とパフォーマンスの面でスーパースポーツカテゴリーにおいて確固たる地位を確立して来ました。短期間で7つのWSBK選手権をはじめ、54もの世界タイトルを獲得し、成功を収めるアプリリアのレーシング部門の貴重な経験から成し得た偉業の最高の証といえます。サーキットで磨かれた技術は量産車に引き継がれ、アプリリアレーシングのマシンに通じる興奮を全てのライダーに提供します。高次元の設計と応用技術において突出したRSV4は、量産スポーツバイクではかつて無かった65° V4エンジンを軸に考案されました。更に、GP250クラスにおいて143のグランプリレースを制し、18のタイトルを勝ち取った名跡を受け継ぐフレーム技術を採用し、エンジンとバイクの運動性能を制御する最先端の応用電子システムを搭載しています。アプリリアはライド・バイ・ワイヤ マルチマップ スロットルを標準装備した最初のメーカーであり、何よりもライダーのパフォーマンスを最大限に引き出すための最も効率的で完璧な電子制御システムであるAPRCダイナミックコントロール・プラットフォームの特許を最初に取得したメーカーでもあります。

PRESS INFORMATION

10 年以上に渡りスーパースポーツカテゴリーを制してきたアプリリアが、新型 RSV4 の発表により、スーパースポーツバイクの基準となる役割を担い続けることとなります。デザイン、エアロダイナミクス、エルゴノミクス、エンジン、シャーシ構造、標準装備等あらゆる面で目覚ましい進化を遂げ、ラップタイムやベストラップを容易に更新できるなど、サーキット走行でのパフォーマンスが向上しています。

さらにアプリリア RSV4 ファクトリーは 1100cc、217 馬力の V4 エンジンの優れた性能により、圧倒的なトップレベルのプラットフォームを誇り、オーリンズ社との共同開発によるセミアクティブサスペンションやアルミ鍛造ホイールなど、より洗練された技術特性を備えています。



デザイン:革新的なスタイルと MotoGP から派生したエアロダイナミクス

RSV4プロジェクトは常に「一切妥協のない最高、最速のスーパーバイクであり、パフォーマンスと効率性の面でレース用にチューニングされたアプリリアレーシングのバイクに最も近いマシンを創る」という明確な目標を追求してきました。つまり、最高の性能と洗練された技術を追求する非常に要求レベルの高いライダーに捧げる、カテゴリーの最上位に君臨するプレミアムモデルです。

新型アプリリア RSV4 のデザインは、エアロダイナミクスの応用という点において努力が実を結んだ結果であり、スーパーバイクにエアロダイナミクスパーツを初めて導入した後、2018 年には RSV4 RF LE に、2019 年および 2020 年には RSV4 1100 ファクトリーに導入したことにより、さらに明確で革新的なソリューションの研究を重ねるというアプリリアの真摯な姿勢を実証しています。

新型 RSV4 のフォルムは革新的な RS 660 のフォルムにインスパイアされており、極限まで空気抵抗を低く抑えることで高速走行時のパフォーマンスが大幅に向上しています。気流からライダーを保護する機能が 11% 向上し、肩部や頭部で上手く逃がす設計になっています。また、フロントエンドの特殊なデザインにより、エアボックス内の気圧が 7% 上昇し、エンジン性能も向上しています。ウイングレットは側面に取り付けず、ダブルウォールフェアリングに組み込んでいます。

デザイン性と機能性を両立させるという目標を達成するために、二次元曲面の開発は特に複雑さを極めました。CFD(数値流体力学)ソフトウェアによる計算で効率性を分析し、公道やサーキットでテストを行う前に風洞実験を実施しました。このソリューションの開発には、アプリリアレーシングの空力エンジニアが直接関わり、レーシングバイクに採用しているアプローチと同じ方法で細かいチューニングを行っています。つまり、下向きに流れる空気の圧力により、高速走行時の安定性が向上し、コーナー立ち上がりではウイリー傾向を抑え、同時にハードブレーキングでの安定性向上に貢献します。また、エンジンの冷却機能が向上すると共に、ライダーから熱い気流を逸らすことができます。

サイドパネルの表面をコンパクトにまとめ、フロントホイールを完全に露出させたことで、方向転換時のハンドリングが向上してい

PRESS INFORMATION

ます。これはMotoGPのRS-GPですすでに採用されているソリューションです。フェアリングの主な特徴は、最新世代のアプリリアスポーツバイクを象徴するメッセージを明確に表しており、**ダイナミックでモダンなフォルムとコンパクトさ**が際立ちます。特徴的な**トリプルLEDヘッドライト**は、2つのメインヘッドライトの周囲にDRLライトを備えており、明るさにかかわらず目でRSV4を認識することができます。ウインカーランプは、2つのDRLの外側に組み込まれており、フロント部をよりコンパクトにまとめています。ライティングシステムには、より安全なライディングを実現するためのユニークな機能を搭載しています。トワイライトセンサーを搭載したことにより、**ロービームライトが自動的に点灯**し、急ブレーキ時にはウインカーランプが急点滅します(この機能はサーキット走行時には無効化することができます)。最後に、「**コーナリングライト**」機能により、補助ライトがコーナーの内側を照らし、コーナリング時の視認性を高めています。

エルゴノミクスにも注目すべきポイントであり、新しい燃料タンク、9mm低くなった新しいサドル、10mm低くなったフットペグ(グリップ力も向上)の導入により、フェアリングとライダーの一体感が高まり、背の高いライダーでも十分なスペースを確保し、より自然でリラックスしたポジションで走行することができます。フットペグが低くなったにもかかわらず、先端部のよりミニマルなデザインによって、左右のグランドクリアランスが共に15°向上しています。新しい燃料タンクの形状はブレーキング時に上半身をしっかりとサポートし、両腕にかかる力を軽減すると共に、コーナリング時の外脚のレストポジションを確保します。

新型RSV4は、アプリリアの最もスポーティなモデルの伝統を踏襲し、ミラー、パッセンジャーフットペグ、ライセンスプレートブラケットなど、サーキット走行に必要な全ての要素を簡単に取り外せるように設計されています。



シャシー構造:アプリリアが提供する最大限の効率とフィーリング

超微細なシャシー構造を採用するアプリリアのノウハウは、今では周知の事実となっています。アプリリアの優位性は、優れたフレームを作る方法を理解するだけでなく、あらゆる種類のシャシー構造を最適化する方法を熟知していることにあります。「ノアーレ生まれ」のシャシーの最新の実例としては、RSV4とはまったく異なるシャシー構造でありながら、公道でもサーキットでも卓越したライディング・クオリティを提供するRS660にも象徴されています。

RSV4のみに与えられた特性(前世代から引き継がれた特性)は、標準装備のシャシーで対応可能な調整範囲の広さにあります。実際、アプリリアは、フルアジャスタブルサスペンションに加えて、フレーム内のエンジン位置、ステアリングヘッドの角度、スイングアームのピボットの高さをライダーの好みで調整できる唯一のスーパーバイクであり、さながら本物のレーシングバイクです。完璧なまでにマスの集中化を図ったフレームは強みの一つで、この結果を達成するため、各パーツは細部に至るまで研究し尽くされています。燃料タンクの位置は、レーシングマシンと同様に、燃料の大部分がサドルの下に収まるようになっており、バイクのバランスを最適化すると共に、満タン時と空タンク時のハンドリングの違いの釣り合いを取っています。

これまでに確立されたアプリリアの伝統に倣って、RSV4のアルミフレームは鋳造とプレス加工された部品を溶接して強度と柔軟

PRESS INFORMATION

性を高めています。つまり、瞬時のフィーリングと最大のライディングコントロールを実現するために調整された、ねじり剛性レベルが特徴的な構造になっています。**新設計のスイングアーム**は、フレームと同じ構造技術を採用していますが、下部に補強ブレースを備え、従来の7つの溶接部品から現在の3つの部品へと簡素化されており、それによりバネ下重量が600g軽量化されています。さらに、補強ブレースのアームが長くなったことで、スイングアームの横剛性がホイールピン部で30%向上し、トラクションに大きな効果をもたらしています。アプリリアレーシングの要請により、ホイールピンの調整スロットを拡張し、レースにおいて重要な要素であるリアホイールの位置決めをより広い範囲で行うことができます。



RSV4 ファクトリーには、既にクラストップレベルのセミアクティブサスペンショントリオを採用しています。オーリンズ製の **Smart EC 20** は、スウェーデンのエンジニアとノアール社のエンジニアが共同で、イモラやムジェロなどの最も難しく過酷なサーキットや公道での長時間に及ぶ懸命な開発作業に基づいて微調整を行い、サスペンションを機械的に作動させることで、同じオーリンズ製のサスペンションの乗り心地とパフォーマンスを向上させるという第一目標を達成しました。オーリンズ製の Smart EC 20 サスペンションを制御する ECU は車両のあらゆる電子システムへアクセス可能です。つまり、全てのライディングフェーズを認識することができ、更にオーリンズとアプリリアが共同開発したアルゴリズムにより、フォーク、ショックアブソーバー、油圧ステアリングダンパーの設定を行うことが可能となります。結果として、サーキット走行時のあらゆるライディングフェーズを通じて、サスペンションがライダーをしっかりサポートすると共に、既に高いレベルに到達していた従来の RSV4 の特徴でもあるフロントホイールのフィーリングも更に向上しています。さらに、アスファルトの凹凸を認識する機能が向上したことにより、公道走行での扱いやすさと乗り心地の良さを実現しています。Smart EC 20 セミアクティブサスペンション特有の技術により、**セミアクティブモードとマニュアルモード**の2つの操作モードを備えたフォークとショックアブソーバーのキャリブレーションを簡単にカスタマイズすることができ、またハンドルレバーのボタン操作で選択が可能です。**3種類のマップ**が、異なる設定でサスペンションを調整して、セミアクティブの介入度を(A1、A2、A3)を選択します。1つ目はスリックタイヤで使用するために開発されたもので、特に路面が非常に滑らかなサーキット走行に適しています。2つ目はハイグリップロードタイヤおよびアスファルトが凹凸しているサーキット走行に適しています。3つ目は公道専用で、路面の状況に応じて振動を吸収する高性能な油圧技術が特徴です。一方、マニュアルモードでは3種類のマップ(M1、M2、M3)により、機械式サスペンションシステムと同じように、セミアクティブアシストの介入無しで、あらかじめ設定された幅広いキャリブレーションを提供します。セミアクティブモードとマニュアルモードの双方で、前述の3種類のロジックマップを使って、とりわけ要求レベルの高い経験豊富なライダーの好みやライディングスタイルに応じてサスペンションのキャリブレーションを微調整することが可能です。オーリンズ製ステアリングダンパーも Smart EC 20 システムによって電子制御されており、フォークやショックアブソーバーに応じてキャリブレーションの調整を最適化するようにカスタマイズが可能です。アプリリア RSV4 のカラーTFT ダッシュボードに表示される OBTi(オブジェクティブ ベースド チューニング インターフェース: 目的に基づいたチューニングインターフェース)が直感的なセッティングを実現します。OBTiの操作ロジックは、全てのライディングフェーズにおいてライダーが達成したい目標に基づいています。例えば、ライダーが **NX** フォークの収縮制御を必要とする場合はブレーキング時にアシスト介入し、またスロットル全開時に **TTX** ショックアブソーバーのアシストが必要な場合には、加速時にアシスト介入

PRESS INFORMATION

します。また、ショックアブソーバーとフォークスのプリングプリロード調整を手動で行うことができます。

RSV4のブレーキシステムには、軽量かつ効率的な**ブレンボ製の Stylema®**キャリパーを採用し、超高性能な摩擦係数を誇るパッドを装着しています。ブレーキキャリパーは、作動温度を適切に保つ効果のあるカーボン製エアダクト(アプリリアの純正アクセサリ)と組み合わせることができ、最も過酷な使用状況でも卓越したブレーキ性能を保証します。

増大したトルク、アプリリア V4 1100 の強烈な個性は継承

アプリリア RSV4 は、スポーツ志向のライダーが求める最高のパフォーマンスと、ノアール生まれの V4 の個性、独特のサウンドを兼ね備えています。最先端を求めるスポーツ志向のライダーのニーズを満たすプラットフォームであると同時に、レーシングバイクを開発するための唯一無二のプラットフォームでもあります。新型 RSV4 ファクトリーモデルでは、1,099cc のパワープラントを搭載しています。これはアプリリアが開発した最も革新的でパワフルなエンジンであり、スリムでハイパフォーマンスな V4 エンジンを搭載した世界初の本格的な量産モーターサイクルです。「総合的」エレクトロニクスを採用した他に類を見ない独特なエンジンを搭載し、マグネシウム製アウトターハウジングやオイルサンプ、シリンダーヘッドカバーにより、極めてコンパクトかつ軽量化を実現しています。スリムな V 型構造を採用することで、エンジンを大幅に縦にスリム化することができ、重量の集中化を図るとともに、卓越した高性能なシャシーを実現しています。タイミングシステムでは、チェーンカムシャフトがインテークカムシャフトのみを駆動し、それがギアを介してエキゾーストカムシャフトを駆動するという、非常に特殊な運動特性を採用しています。これにより RSV4 では極めて小さなヘッドを採用し、GP マシン並みにコンパクトなフレームレイアウトを実現しています。クランクケースには一体型アルミ製シリンダーライナーを備えたモノブロックを採用し、高剛性と安定したパフォーマンスを実現しています。また、カウンタースhaftが振動を抑制します。

新型アプリリア RSV4 ファクトリーのエンジンは、従来のエンジンと比較してボアストローク比が改善され、ストロークは従来の 523mm から現在の 533mm(ボアは 81mm を維持)となりました。クランクシャフトも新しく、クランクの半径が大きくなり、さらにアッパークランクケースも新しいストロークに合わせて調整されています。結果として、エンジン排気量は従来の 1078cc から現在の 1099cc になり、それに伴いトルクも従来の 122Nm/11,000rpm から現在の **125Nm/10,500rpm** に向上しています。大きなピークトルク値に加えて、ピークトルクが全体のパワー出力域においてどのように増加するかが重要であり、さらに RSV4 にとっては、サーキット走行で低速域からの加速をより効率化するだけでなく、公道走行をより刺激的なものにすることが非常に重要なポイントとなります。出力は従来モデルと同じ 13,000rpm で 217 馬力となり、ユーロ 5 規制に適合しているにもかかわらず、RSV4 は現在の最高速度 305km/h の壁を突破し、すでに絶対的なレベルに到達しています。新開発の**マニエッティ・マレリ製 ECU 11MP** は、ピン数が 80 から 144 に増え、計算能力が従来のものより 4 倍速くなったことで、より多くの要素が接続でき、さらにより複雑なアルゴリズムの管理が可能となりました。厳格な環境規制基準であるユーロ 5 にエンジンを適合させるため、セラミックマトリックス複合材の触媒コンバーターを備えた新たな排気システムを開発しました。この触媒コンバーターは、従来の RSV4 RR(日本未導入モデル)に採用されていたものより軽量でありながら、より強力で、熱慣性が低くなります(より早く作動温度に達し、大気汚染物質排出量の削減に貢献)。



PRESS INFORMATION

新型 APRC: アプリリアが提供する最先端のエレクトロニクス

初登場となるアプリリアの新型電子制御システムは、従来モデルに搭載されていたものから更に進化を遂げ、その効率性と細かいチューニングについては常に評論家や多くのユーザーの注目の的となっています。

新世代の APRC (アプリリア パフォーマンスライドコントロール) はレーシングから直接派生した制御システム/パッケージで、極めて高い計算能力を誇る 6 軸慣性プラットフォームを採用していることから、バイクの動的状況を検知する能力に優れ、極めて細かい電子制御戦略を実現しています。

5 度の進化を遂げたアプリリア APRC は、ビルトイン型フルライド・バイ・ワイヤスロットルコントロールが提供する電子的な細かいチューニングを完璧に取り込み、電子スロットルレバースマネジメントのための構成部品を一切必要としません。これにより、重量面に明らかなメリットがあります (従来のシステムと比較して、500g 軽量化を実現)。

新型 APRC の新機能の一つは、選択したエンジンマップから独立して、エンジンブレーキコントロールを調整可能にする AEB (アプリリア エンジンブレーキ) です。その他、アプリリア RSV4 ファクトリーに標準装備されている **新型 APRC** には、以下のものが含まれます:

- **ATC** : **アプリリアトラクションコントロール**は、スロットルを閉じず、走行中に 8 段階まで調整可能、より高性能な操作ロジックを特徴としています。
- **AWC** : **アプリリアウィーリーコントロール**は、5 段階に調整可能なウィーリーコントロールシステムで、より正確な操作戦略を実現します。操作しやすい左手側のスイッチブロックにより、ATC と同様、スロットルを閉じず、走行中にウィーリーコントロールシステムを調整することができます。
- **AEM** : **アプリリアエンジンマップ**は、エンジン出力の特性やパワーデリバリーを変更するための 3 種類のマッピングを搭載しています。
- **AEB** : **アプリリアエンジンブレーキ**は、3 段階に調整可能なエンジンブレーキシステムで、リーン角を考慮した特殊なアルゴリズムで最適な操作を実現します。
- **ALC** : **アプリリアローンチコントロール**は、3 種類の設定が可能なサーキット走行専用のコントロールで、極めて効率的な操作戦略を採用しています。
- **AQS** : **アプリリアクイックシフト**は、スロットルを閉じたりクラッチ操作を行うことなく、高速でシフトチェンジを可能にする新しい電子制御ギアボックスです。ダウンシフト機能も搭載しており、クラッチレスでのシフトダウンが可能です。また、スロットルを開けた状態でシフトダウンすることも可能です。
- **APL** : **アプリリアピットリミッター**は、サーキットのピットレーンや公道での制限速度を設定することができるシステムです。
- **ACC** : **アプリリアクルーズコントロール**は、電子制御によりスロットルを操作することなく設定速度を維持できる、長距離走行に非常に便利なクルーズコントロール機能を採用しています。



APRC システムに加えて、RSV4 ファクトリーにはボッシュと共同開発した **マルチマップ・コーナリング ABS** が標準装備されており、サーキットで最高のパフォーマンスを実現すると共に、路上での安全性をさらに高めています。非常に軽量でコンパクトなサイズ

PRESS INFORMATION

に抑えた 9.1MP システムは、横加速度、フロントブレーキに掛かる圧力、リーン角、ピッチ角、ヨー角などの様々なパラメーターを常時監視し、減速度と安定性の比率を最適化するためにブレーキ動作を調整する独自のアルゴリズムにより、コーナリング時のブレーキ操作と ABS の介入を最適化することができます。ABS システムはアプリア RLM (リアリフトアップミティゲーション) システムと連動しており、急ブレーキ時の後輪の浮き上がりを抑制します。コーナリング ABS はアプリア独自の指示に従って細かいチューニングが施されており、感度を 3 段階に調整可能です。コーナリング ABS の 3 種類のマップは、全ての新しいエンジンマップと組み合わせることができ、経験やスキルの異なるライダーが自分のスタイルに合った最適な組み合わせを決定することができます。

使用状況に応じてライディングエクスペリエンスを最大限に高め、さらにバイクライフをよりシンプルにすることを目的に、**6 種類のライディングモード**を搭載しています。

ライダーは自分のライディングニーズに合ったライディングモードを選択するだけで、トラクションコントロール、ウィーリーコントロール、エンジンブレーキ、ABS などの管理パラメーターが自動的に最適な設定となります。

公道で使用する 3 種類のライディングモード:

Street – 日常ライドに最適

Sport – 公道でのスポーティな走りを実現

User – 電子制御を完全にカスタマイズ

サーキットでの使用を想定して設計された 3 種類のライディングモード:

Race – アプリア開発チームの経験に基づいて細かいチューニングが施され、トラックセッションでライダーをしっかりサポートし、RSV4 の潜在能力を最大限に引き出すのに最適です。

「Track 1」及び「Track 2」 – 経験豊富なライダーがエレクトロニクスの設定を完全にカスタマイズすることができ、また 2 つのトラックのパラメーターを記憶することができます。エレクトロニクスの設定は、新しい電子ハンドルバーコントロールで管理されます。左手側のスイッチブロックにある 4 つのボタンコントロールや、クルーズコントロールやトラクションコントロールのクイックマネジメントコマンドにより、簡単かつ直感的な操作を実現しています。

可能な限り重量を抑えるために、RSV4 には**軽量リチウムバッテリー**が搭載されています。

新しい**5 インチのカラー TFT デジタルインストルメントクラスター**には、特別な表示オプションが用意されています。**Road** (公道) 又は **Track** (サーキット) を選択できる 2 つの画面 (いずれもワイライトセンサー搭載により、日夜自動バックライト機能付き) は、2 種類の表示に対応しています。アクセサリには、スマートフォンをバイクに接続してインストルメントパネルの機能をさらに拡張することができる、新しいアプリアマルチメディアプラットフォーム、**アプリア MA** をオプションとして取り揃えています。アプリア MA システムは、スマートフォンのバッテリー消費を最小限に抑える接続プロトコルを提供し、直感的なハンドルバー操作で音声アシスタントや通話、音楽を管理する**インフォテインメントシステム**とナビゲーション機能の両方を搭載しています。この機能により、スマートフォンに旅の目的地を一度設定してしまえば、バイクのインストルメントに直接経路を表示させることができます。(ナビゲーション機能は、日本国内では有効ではありません)

装備とカラー

RSV4 ファクトリーには鍛造アルミホイールや、オーリンズ製セミアクティブ Smart EC 20 サスペンションシステムを採用するなど、装備パッケージを充実させたモデルとなります。日本市場においては**アプリアブラック**のグラフィックのみ導入し、光沢のあるブラックにレッドのハイライトを交互に配し、アルミフレームのラインを際立たせています。

PRESS INFORMATION

スポーツ性とスタイルを極める豊富なアクセサリ

アプリリアは、RSV4 ファクトリーをカスタマイズする豊富なアクセサリを設計開発しました。バイクの性能、美しさ、快適性を向上させる高品質で厳選されたアイテムです。

スリップオンエキゾースト:チタン製サイレンサーを備え、公道使用可のアプリリアレーシング専用アクラポビッチ製エキゾースト。アプリリアレーシングが開発した専用のエンジンマッピングを用意。

コンプリートレーシングエキゾースト:マニホールド付きアプリリアレーシング専用アクラポビッチ製エキゾーストシステム。カーボン製テールパイプを装着。アプリリアレーシングが開発した専用のエンジンマッピングを搭載。

エキゾーストサポートブラケット:カーボンバージョン(軽量)とアルミバージョンを取り揃えています。アプリリア純正アクセサリのエキゾーストの取付けには、パッセンジャーフットペグを取外す必要があります。

カーボン製パーツ:フロントフェンダーおよびヒールガード。マット仕上げのカーボンファイバー製。スポーティなルックスと軽量化を実現しています。

カーボン製フロントブレーキエアベント:フロントブレーキシステムに簡単に取付け可能。長時間ストレスが掛かる状況でも温度上昇を抑え、ブレーキ性能を維持します。

フットペグキット:ビレットアルミニウム製。複数の位置で調整可能。

ミラープラグ:ポリエチレン製。サーキット走行の際に、ミラー取付ホールに使用します。

ライセンスプレートホルダーカバー:レーザーカット加工を施したアルミニウム製。サーキット走行の際に、ライセンスプレートブラケットを取り外して装着します。

逆シフトレーシングギアレバー:サーキット走行時のパフォーマンスを向上させるため、ギアシフトモードを反転させるメカニカルパーツ。

アルミニウム製レーシングレバー:ビレットアルミ製。よりアグレッシブな印象を与え、さらに純正部品の軽量化を図っています。

ハンドルバーカウンターウエイト:ビレットアルミニウム製。ブラックナイロンプラグとレーザー刻印のロゴ付き。特殊な構造により固定ネジが見えなくなります。

リアスタンドピン:ナイロンガード付き、ビレットアルミニウム製リアスタンド用ピン。

アジャスタブルライセンスプレートブラケット:レーザーカット加工を施したスチール製。LED ライセンスプレートライト付き。

バイクカバー:通気性に優れたライクラ素材を採用。埃からバイクを保護します。

アプリリア MA キット:アプリリア V4 モデル専用のマルチメディアプラットフォームの取付けキット。Bluetooth コントロールユニットおよび取付けに必要なすべての配線を含みます。

PRESS INFORMATION

RSV4 Factory 主要諸元

エンジン	4 ストローク 水冷 65°V 型4気筒 DOHC 4バルブ
総排気量	1,099 cc
ボア × ストローク	81 mm × 53.3 mm
圧縮比	13.6:1
最高出力	217 HP (159.6 kW) / 13,000 rpm
最大トルク	125 Nm /10,500 rpm
燃料供給方式	電子制御燃料噴射システム、マレリ製 48 mm 4 スロットルボディ、8 インジェクター ライド・バイ・ワイヤ エンジンマネジメントシステム
トランスミッション	6 速カセットタイプ アプリリア・クイック・シフト(AQS) UP & DOWN
1 次減速比	73/44 (1.659)
2 次減速比	41/16 (2.562)
クラッチ	機械式スリッパシステム付湿式多板クラッチ
電子制御マネージメント	APRC システム(アプリリア・パフォーマンス・ライド・コントロール)の機能 AEM(アプリリア・エンジン・マップ)、AEB(アプリリア・エンジン・ブレーキ)、 ATC(アプリリア・トラクション・コントロール)、AWC(アプリリア・ウィーリー・コントロール)、 ALC(アプリリア・ローンチ・コントロール)、ACC(アプリリア・クルーズ・コントロール)、APT (アプリリア・ピットレーンスピードリミッター)、 6 種のライディングモード(Road 3 種・Track 3 種)
フレーム	アルミニウム製デュアルビームフレーム (ヘッドストックポジション及び角度調整、エンジンマウント高さ調整、スイングアームシャフト 高さ調整機能付き) Öhlins 製 Smart EC 2.0 電子制御ステアリングダンパー
サスペンション(F)	Smart EC 2.0 電子制御 Öhlins 製 NIX テレスコピック Φ43 mm チタンコーティング倒立フォーク、 アルミ製ラジアルキャリパーマウント、スプリングプリロード、コンプレッション及びリバウンド調整機能、 ホイールトラベル 125 mm
サスペンション(R)	ダブルブレースアルミ製スイングアーム Smart EC 2.0 電子制御 Öhlins 製 TTX モノショックビギーバックタイプ、スプリングプリロード、 ホイールベース、コンプレッション及びリバウンド調整機能 ホイールトラベル 115 mm
ブレーキ(F)	330 mm 軽量ステンレス製フローティングデュアルディスク、 ブレンボ製 Stylema®モノブロック ラジアルマウント 30 mm 径 4 ピストンキャリパー、ラジアルポンプ
ブレーキ(R)	220 mm ディスク ブレンボ製 32 mm 径 2 ピストン フローティングキャリパー
ABS	ボッシュ製 9.1MP コーナリング ABS 3 マップ、RLM(リアホイールリフトアップ軽減システム)
ホイール(F)	3.5J x 17 軽量鍛造アルミホイール
ホイール(R)	6.0J x 17 軽量鍛造アルミホイール
タイヤ(F)	120/70-ZR17
タイヤ(R)	200/55-ZR17
全長 / 全幅	2,055mm / 735mm
ホイールベース	1,435.8mm
シート高	845 mm
車両重量	202Kg (燃料 90%搭載時)
燃料タンク容量	17.9 L



PRESS INFORMATION

◇製品ページ:

<http://aprilia-japan.com/rsv4/>

◇お客様お問い合わせ先:

ピアaggioコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868